

あなたのまちの国有林

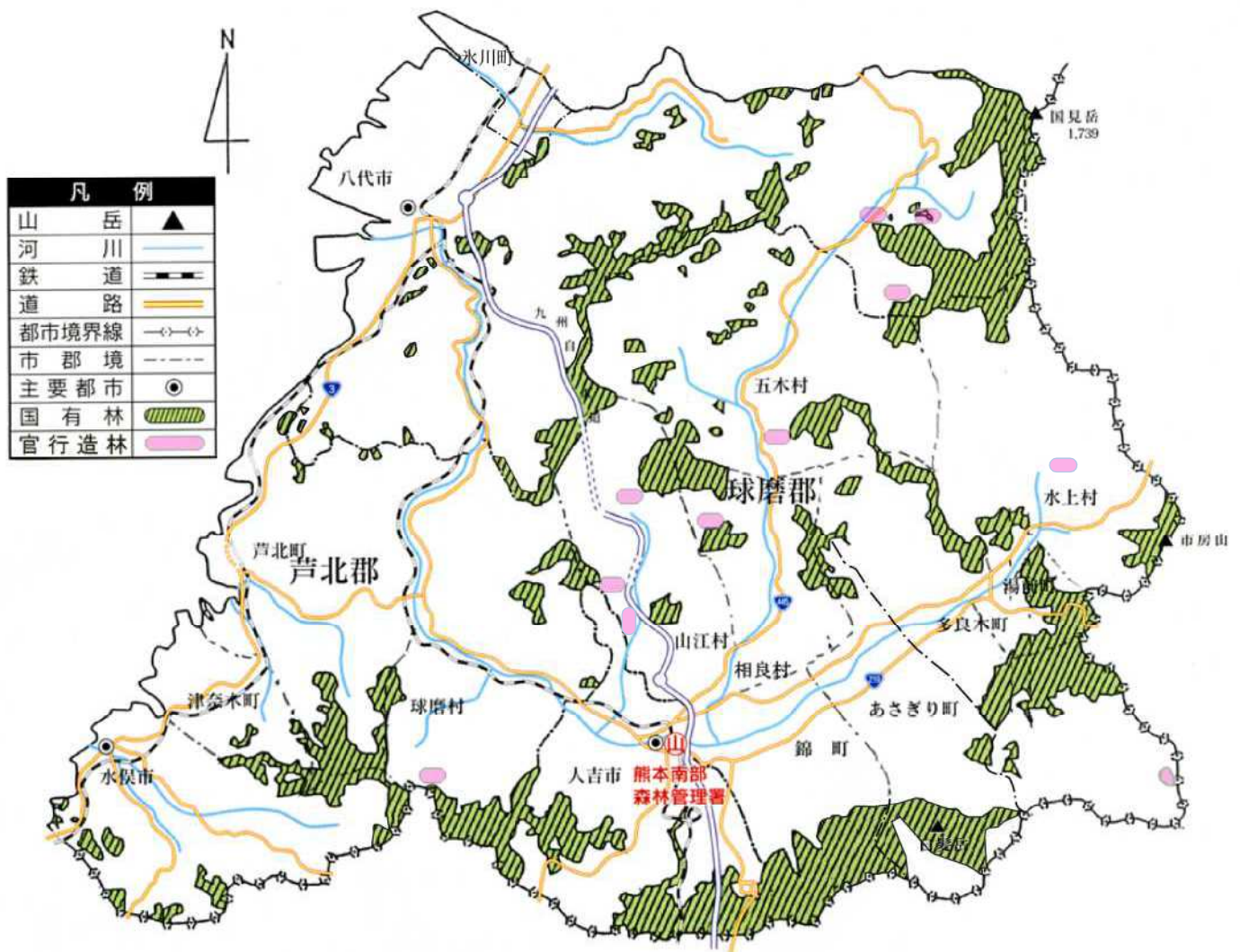
球磨川流域における国有林野事業の取り組み



人吉盆地を望む
(高塚山から)

九州森林管理局
熊本南部森林管理署

球磨川流域の国有林位置図



球磨川流域の概要

自然的、社会、経済的背景

① 流域の位置及び面積

本流域は、熊本県の南部に位置し、八代市、人吉市、水俣市、葦北郡、球磨郡及び八代郡の3市3郡(7町5村)からなり、面積は268,265haで、熊本県の総面積740,935haの36%を占めている。本流域の対象とする国有林は、3市3郡(7町5村)に所在しており、北東部に位置する国見岳及び市房山等の形成する九州中央山地から西側の球磨川源流部から河口部に分布し、面積は37,053ha※である。

※ 球磨川国有林の地域別の森林計画書に定める面積(貸地、付帯地及び付属地を除く面積)

② 国有林の概況

本流域の対象とする国有林面積は37,053ha※で九州森林管理局面積の約7%を占めている。蓄積は、10,002千m³で九州森林管理局管内総蓄積の約7%を占めている。人工林面積は、22,361haで人工林率が62%となっている。森林の種類は、普通林3,012haで8%を占め、制限林34,011haで92%となっている。制限林のほとんどが保安林であり、そのうち水源涵養保安林が97%を占めている。

※ 球磨川国有林の地域別の森林計画書に定める面積(貸地、付帯地及び付属地を除く面積)

③ 地 勢

地形は、宮崎県境の国見岳、市房山、宮崎・鹿児島県境の白髪岳等を有する脊梁山地から八代平野まで、概ね東に高く西に低い山岳地形をなしており、起伏が大きく河川は一般的に流域面積が狭く、勾配も急である。八代平野は、球磨川や氷川等の下流部に形成された沖積平野であり、その約3分の2が干拓によって造成され、農業及び工業の中心地となっている。また、八代・芦北地域は、緑川断層及び日奈久断層によって、西の八代平野と東の山間地域に区分される。球磨地域は、中央部に人吉盆地を有し、球磨川、川辺川等がV字峡谷を形成し、平坦地に乏しいが山頂部には、端海野、平沢津等の高位平坦面が残されている。

④ 地質及び土壌

南部の鹿児島県境から宮崎県境にかけて安山岩及び泥岩地帯が分布している。また、東部には市房山を中心とした花崗岩地帯がある。人吉盆地中央部は、砂、礫、シルトの未固結堆積物が主な基岩となっている。銚子笠から南西方向に大坂間構造線の石灰岩層が縦走し、それを挟んで古生代の砂岩、泥岩、チャートの固結堆積物が分布している。山間地域の大部分は堆積岩を基岩とする土壌であり、尾根筋には乾性褐色森林土、中腹以下には褐色森林土、沢筋には湿性褐色森林土が分布している。また、球磨川兩岸の台地に見られる波状斜面には黒ボクが分布している。

⑤ 気 候

西部地域は、一般的に温暖であり、年平均気温は平野部において17.1℃となっているが、東部山間地域は15.5℃とやや低い傾向にある。なお、人吉盆地は夏と冬の寒暖の差が大きい内陸性気候である。また、年間降水量は平野部で約2,200~2,300mm、人吉盆地で約2,600mm、東部山間地域では約2,500mmに達している。

⑥ 人 口

本計画区の人口は、平成29年熊本県推計人口調査によると約271千人で熊本県全体の15%を占めている。人口密度は、県平均の238人/km²に対して、101人/km²となっている。

⑦ 交通

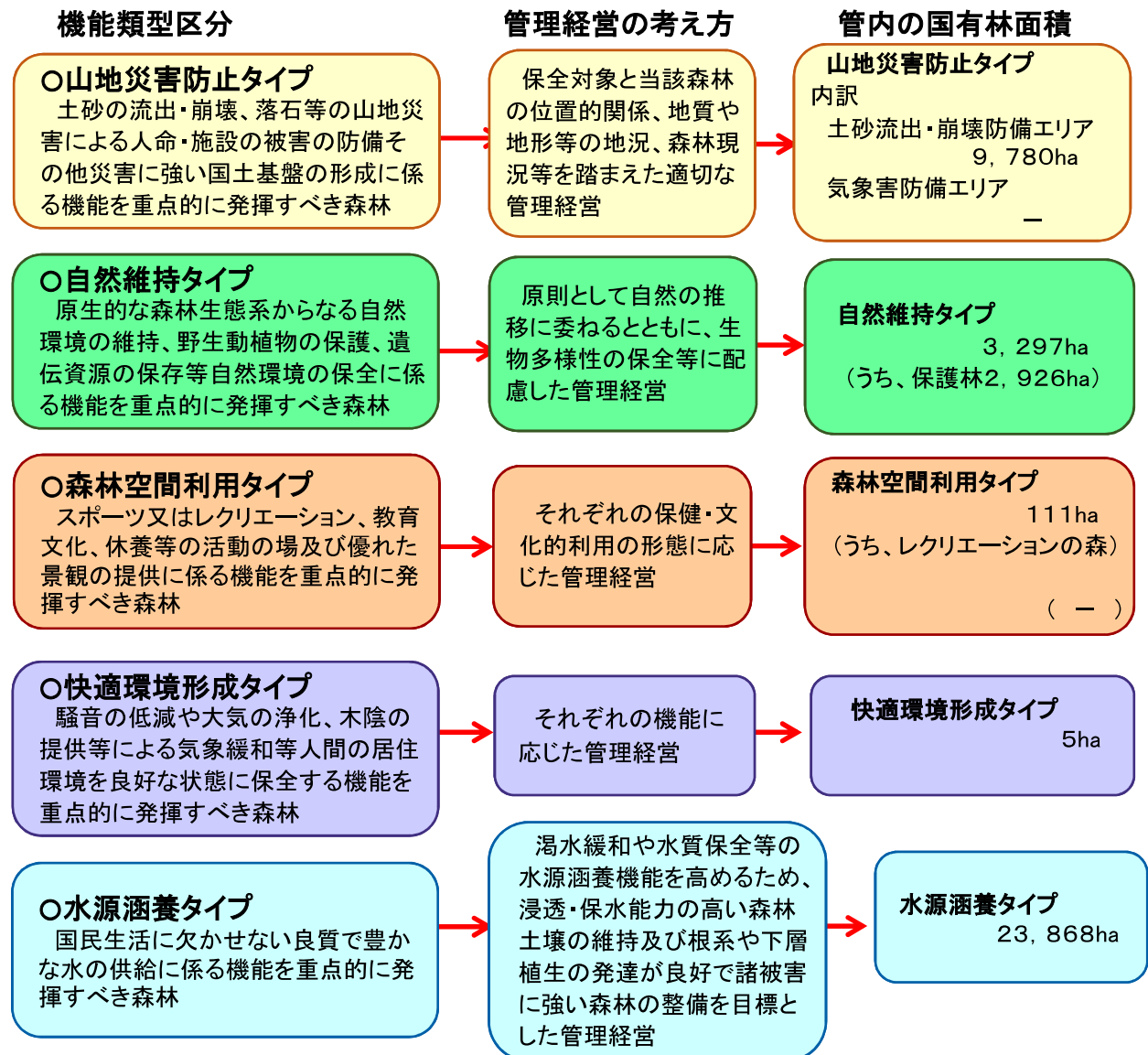
交通路については、幹線としてJR九州新幹線、JR鹿児島本線及び国道3号が平野部を南北に縦貫し、九州自動車道が熊本市方面から八代市、人吉市を経てえびの市方面へ、南九州自動車道が八代市から水俣市方面へ延びている。幹線から分岐してJR肥薩線、くまがわ鉄道、国道219号、268号、388号、445号等が山間地域へ、また、肥薩おれんじ鉄道が八代から鹿児島方面へ延び、これらの道路と縦横に連絡する県道、市町村道の整備が進められている。

⑧ 産業の概要

平成26年度の産業別生産額は、総額で8,029億円、その内訳は第1次産業が486億円で6%、第2次産業が2,013億円で25%、第3次産業が5,530億円で69%となっている。第1次産業の内訳は、農業が431億円、林業が48億円、水産業が7億円となっている。

機能類型に応じた管理経営

国土保全や水源の涵養、環境の保全などの公益的機能の維持増進を重視した管理経営をより一層推進しています。このため、一つひとつの森林を重点的に発揮させる機能によって「山地災害防止タイプ」「自然維持タイプ」「森林空間利用タイプ」「快適環境形成タイプ」「水源涵養タイプ」の5つに類型化した上で、適切な管理経営に努めています。



八代市の国有林

八代市は、総面積の73%が林野で、国有林が約19% (9,760ha)を占めています。釈迦院に至る道路沿線は、釈迦院スギの希少個体群保護林に、また、川辺川の最上流は九州中央山地国定公園に指定され、九州中央山地生物群集保護林の貴重な森林として管理され、多くの人が森林浴や自然探勝に訪れています。

【管轄：八代・河俣・五家荘森林事務所】



白鳥山周辺のシカ防護ネット設置による植生回復
(縦木国有林1124林班)



釈迦院スギ(釈迦院スギ希少個体群保護林)
(釈迦院国有林1002林班)

人吉市の国有林

人吉市は、人吉・球磨地域の森林・林業・林産業の中心地で熊本南部森林管理署があります。総面積の75%が林野で、国有林が約37% (5,862ha) を占め、そのほとんどがスギ・ヒノキ等の人工林で水源涵養タイプとして管理経営されています。

また、西浦国有林には、造林コストの低減等を目的にした試験地を設定し、民有林も含めた普及啓発を図ることとしています。

【管轄：一勝地・大塚・錦・山江森林事務所】



保育間伐(活用型)実行後
(西浦国有林15林班)



林業フェア
(人吉市麓町 ふるさと歴史の広場)



低コストモデル実証団地
(西浦国有林21林班)

水俣市の国有林

水俣市は、総面積の74%が林野で、国有林が約14%(1,755ha)を占めています。水俣川の上流に位置する国有林は、大部分が重要な水源地になっており、また、一部は急傾斜地であり、水源涵養タイプ及び山地災害防止タイプとして管理経営されています。

また、八代海に面した西ノ浦区域は、クス、シイ類を主体とする常緑広葉樹林で、芦北海岸県立自然公園に指定されており、森林空間利用タイプ及び自然維持タイプに区分して管理されています。

【管轄：水俣森林事務所】



国	有	林	
水	俣	森林事務所	



水源涵養保安林の林内
(上山国有林1420林班)



魚つき保安林
(西ノ浦国有林1402林班)



久木野アカガシ等遺伝資源希少個体群保護林
(上山国有林1420林班)

氷川町の国有林

氷川町は、総面積の10%が林野で、国有林が約24%(82ha)を占めており、そのほとんどが水土保持林として管理されています。平成14年度に「漁民の森林」が約2ha設定され広葉樹が植栽されました。

【管轄:八代森林事務所】



油谷国有林から氷川町の市街地を眺望



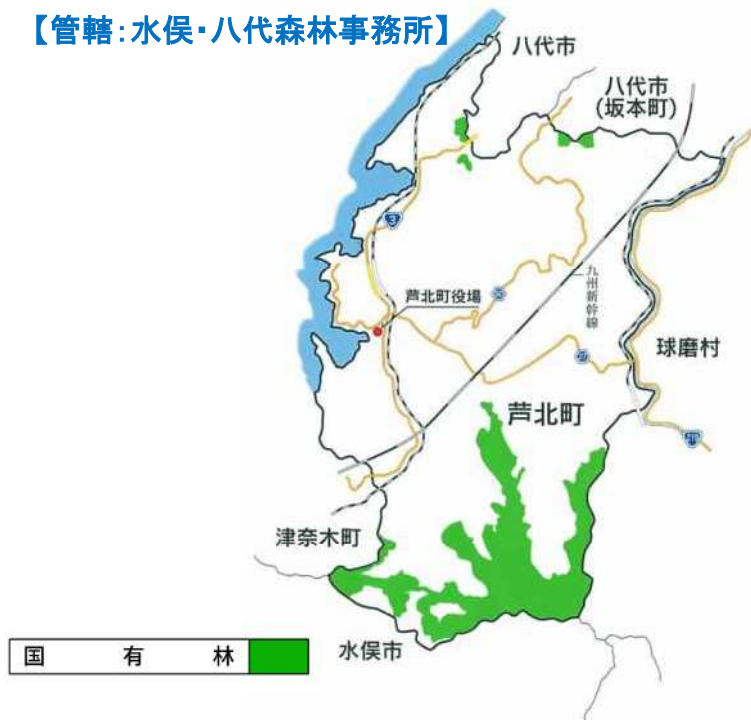
油谷国有林の遠望
(油谷国有林1048林班)

芦北町の国有林

芦北町は、総面積の78%が林野で、国有林が約14%(2,581ha)を占め、佐敷川や湯浦川などの上流部に位置します。大関ヒノキの展示林や国見国有林にはモミ等の希少な老齢天然林が管理されています。

また、国有林のフィールドを活用して緑の雇用現場技能者育成研修も実施されています。

【管轄:水俣・八代森林事務所】



大関ヒノキ展示林
(古石国有林1434林班)



緑の雇用現場技能者育成研修
(庵ノ山国有林1447林班)



モミ等の希少な老齢天然林
(国見国有林1461林班)

津奈木町の国有林

津奈木町は、総面積の64%が林野で、国有林は約1%(16ha)のわずかな面積ですが、全域が水源涵養保安林に指定され重要な役割を果たしています。

【管轄:水俣森林事務所】



土金国有林の遠望



水源涵養保安林指定の標識
(土金国有林1471林班)

錦町の国有林

錦町は、球磨郡の中央部に位置し総面積の57%が林野で、国有林が約36%(1,773ha)あります。山地災害防止タイプと水源涵養タイプに大別されています。水無川の上流には150年生以上の天然生林が管理され、その下流に位置する大谷溪谷ではキャンプや森林浴など多くの人に利用されています。

【管轄：錦森林事務所】



150年生以上の天然性林
(木上大平国有林82林班)



西大平国有林78林班遠望



森林総合監理士育成研修
(一武大平国有林79林班)

あさぎり町の国有林

あさぎり町は、総面積の66%が林野で国有林が約23%(2,383ha)を占めています。白髪岳の一带は生物群集保護林として貴重な森林が保護され、多くの人に森林浴や登山などのふれあいの場として利用されています。

【管轄：錦・多良木・四浦森林事務所】



白髪岳山頂からの眺望
(市房山方面を望む)



シカ防護ネット設置事業看板
(白髪岳登山口)



白髪岳シカ防護ネット設置による効果
(白髪岳国有林3050林班)

多良木町の国有林

多良木町は、古くから数多くの文化財があり、歴史とロマンの里として栄えてきました。総面積の80%が林野で国有林が約16%(2,181ha)を占め、球磨ヒノキの生産地として有名で、光沢や芳香に優れ建築材として広く使用されています。球磨川に注ぐ多くの主流の水源地としても重要な役割を果たしています。

【管轄:多良木・四浦森林事務所】



順調に生育する人工林
(飯盛国有林2005林班)



むつみ保育園森林教室
(多良木町 えびす広場)



林地復旧のための治山事業
(飯盛国有林2008林班)

湯前町の国有林

湯前町は、球磨盆地の東端に位置し総面積の74%が林野で国有林が約61% (2,187ha)を占めています。豊かな森林育成を目指し、民・国が一体となった森林づくりが行われています。

また、シカわなの貸し出しにより、猟友会にて捕獲を行うシカ被害対策協定を当署で初めて締結し、シカ被害の低減を行っています。

【管轄:多良木・水上森林事務所】



環境省の準絶滅危惧種に指定されているイワザクラ
(湯前国有林)



一般参加による自然観察会
(湯前国有林2021林班)

水上村の国有林

水上村は、球磨郡の東部で大部分が九州脊梁山地に位置し総面積の92%が林野で国有林が約11%(1,945ha)あり、緑豊かな村として栄えてきました。市房山には登山者が多く訪れ保健文化的に利用されるとともに、一部は、ゴイシツバメシジミが生息する希少個体群保護林に指定されており、自然観察会を行うなど個体の保護の普及・啓発に取り組んでいます。

【管轄：水上森林事務所】



冬の市房山



地元小学生参加によるゴイシツバメシジミ観察会
(市房国有林)



ゴイシツバメシジミ



「シシラン」の移植作業
(市房国有林)

相良村の国有林

相良村の中央には清流「川辺川」が流れ、総面積の75%が林野で国有林が約18% (1,305ha)を占めています。大規模林道菊池人吉線の周辺のほとんどの国有林は水源涵養保安林の指定を受け、重要な役割を果たしています。

【管轄：四浦森林事務所】



分収造林契約による「連合の森」整備
(夜狩尾国有林2058林班)



民国連携による国有林での
一貫作業システム現地研修会
(北岳国有林2055林班)



職員によるシカワな設置
(平ノ下国有林)

五木村の国有林

五木村は、球磨川の支流川辺川の上流部に位置し、総面積の96%が林野で国有林が約10%(2,526ha)あります。五木五家荘県立自然公園の指定を受け、多くの人が自然とのふれあいの場として訪れています。

国有林もほとんどが水源涵養保安林に指定され、国土保全・水資源確保の役割を果たしています。

また、五木村を中心とした「五木地域森林共同施業団地」の森林整備推進協定を民国で締結し、林業の成長産業化を進めています。

【管轄：四浦森林事務所】



ヒノキの収穫試験地
(端海野国有林2078林班)



民国連携した「五木村森林整備計画書」策定会議
(五木村役場)



五木地域森林共同施業団内での現地検討会
(五木村民有林)

球磨村の国有林

球磨村は、総面積の87%が林野で、森林面積の約9%(1,602ha)が国有林です。村の中央を球磨川が東西に流れ、周囲の山々から大小の川が球磨川に注いでいます。「急流と森林と鍾乳洞の里」として自然豊かな村で、球磨ヒノキの生産地としても有名です。

【管轄：一勝地・水俣森林事務所】



保育間伐(活用型)実行前の林内
(立野境目国有林94林班)



保育間伐(活用型)実行後の林内
(立野境目国有林94林班)



高性能林業機械による作業
(立野境目国有林94林班)



保育間伐(活用型)実行の遠望
(立野境目国有林94林班)

球磨川流域の国有林データ

①市町村別機能類型別国有林面積

市町村別	機能類型		山地災害防止タイプ	快適環境 形成タイプ	水源涵養 タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	計	官行造林
	土砂流出・ 崩壊防備 エリア	気象災害 防備エリア							
八代市	2,593			5	5,184	1,978		9,760	108
人吉市	730				5,067	8	57	5,862	
水俣市	618				1,039	49	49	1,755	
氷川町	65				17			82	
芦北町	281				2,295		5	2,581	
津奈木町	11				5			16	
錦町	305				1,468			1,773	
あさぎり町	784				1,220	379		2,383	
多良木町	851				1,330			2,181	49
湯前町	1,622				565			2,187	
水上村	150				913	882		1,945	53
相良村	15				1,290			1,305	44
五木村	605				1,921			2,526	26
山江村	534				568			1,102	83
球磨村	616				986			1,602	81
計	9,780	0		5	23,868	3,297	111	37,062	444

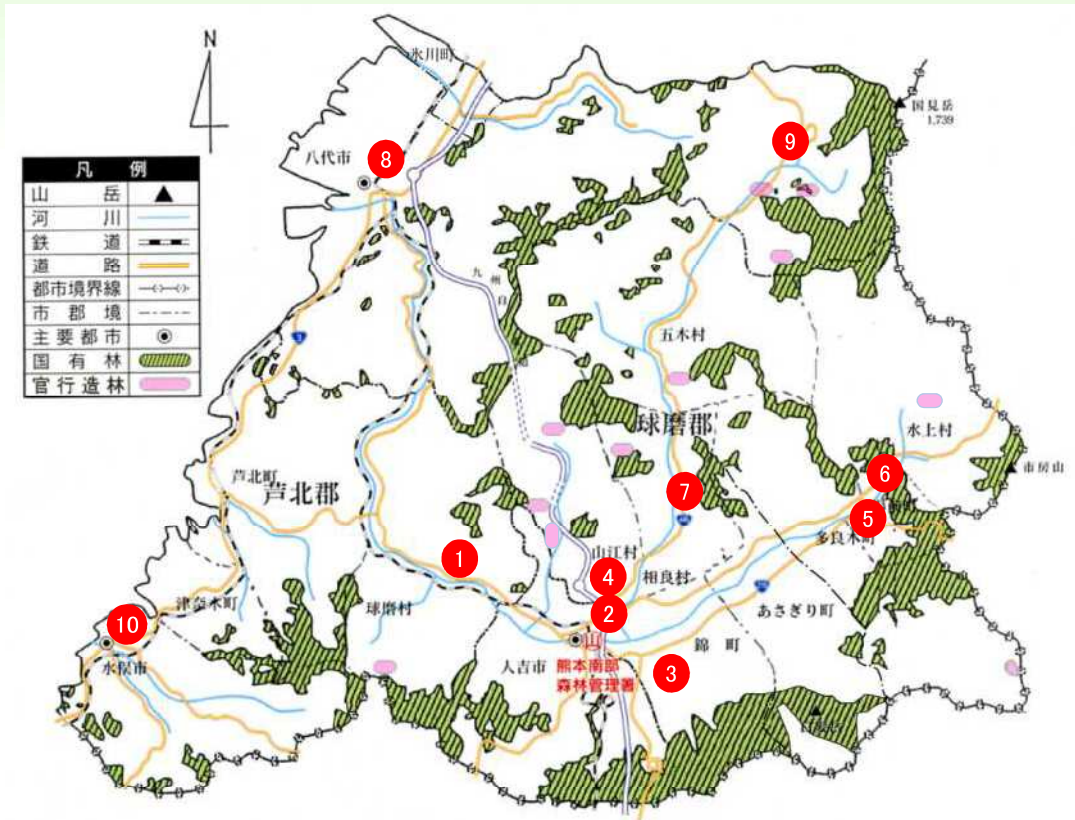
※平成30年4月1日有効の国有林野施業実施計画書(球磨川森林計画区)に定める森林以外(貸地、付帯地及び付属地)を含めた面積

※総計及び内訳の計は、単位未満四捨五入の関係で一致しないことがある。

②保護林の名称及び区域

種類	名 称	面 積 (ha)	位 置 (国有林・林小班)	特徴等
生物群集保護林	九州中央山地	2,234.94	葉 木 1101り外	当地域には太平洋型ブナ林がある程度まとまりをもって分布するとともに、一部に湿性タイプのブナ林が見られ、また、希少な野生生物が生息・生育している等の優良で特異な自然が残っている。これらの生物遺伝資源を自然生態系内に広範囲に保存するために設定
	白髪岳	379.16	白髪岳 2001ほ3外	モミ、ツガ、広葉樹の高齢級天然林の保存と植物学考証
希少個体群保護林	大河平モミ等 遺伝資源	8.49	間 30い	暖帯性上位、下位移行植生の代表的林分であり、モミ、ウラジロガシ、ミズメ、タブノキ、イスノキ、ツブラジイの遺伝資源の保存
	久木野アカガシ等 遺伝資源	26.71	上 山 1420ろ	アカガシ、ウラジロガシ、ツブラジイ、イチイガシ、タブノキの遺伝資源の保存
	市房モミ等	55.80	市 房 2029か 2030ろ	市房山山頂周辺の原生林の保護と植物学的考証
	市房ツガ等 遺伝資源	31.20	市 房 2029と	ツガ、ヒメコマツ、サワグルミ、ケヤキ等の遺伝資源の保存
	市房ゴイシツバメ シジミ	45.27	市 房 2029ほ 外	指定国内希少野生動植物種ゴイシツバメシジミの生息地の保護
	釈迦院スギ	8.61	釈迦院 1001に 外	釈迦院スギの保存と植物学的考証
	崩川内モミ等	135.90	崩川内 2035い、 ろ	モミ、ツガ、広葉樹の保存と植物学的考証

森林管理署・森林事務所の所在地



熊本南部森林管理署		人吉市西間上町 2607-1 TEL 0966-23-3311 FAX 0966-23-3370		
森林事務所	〒	住所	TEL	FAX
① 一勝地	869-6401	球磨郡球磨村大字渡乙400-22	0966(25)6011	兼用
② 大塚	868-0023	人吉市北泉田町168-1	0966(22)3427	〃
③ 錦	868-0302	球磨郡錦町大字一武字立野2659-35	0966(38)7277	〃
④ 山江	868-0092	球磨郡山江村大字山田甲1659-6	0966(22)3585	〃
⑤ 多良木	868-0501	球磨郡多良木町大字多良木378-9	0966(42)2429	〃
⑥ 水上	868-0701	球磨郡水上村大字岩野241-2	0966(44)0005	〃
⑦ 四浦	868-0101	球磨郡相良村大字四浦東2855-2	0966(36)0006	〃
⑧ 八代河俣	866-6105	八代市大手町2-8-9	0965(32)6287 0965(32)6302	0965(33)3199
⑨ 五家荘	869-4514	八代市泉町椎原1-2	0965(67)5326	兼用
⑩ 水俣	867-0006	水俣市白浜町1-22	0966(62)2743	〃

※ 五家荘森林事務所については、八代森林事務所において事務取扱を行っている

林業の成長産業化を目指して



熊本南部森林管理署

九州森林管理局

〒860-0081
熊本市西区京町本丁2-7
TEL 096-328-3500

熊本南部森林管理署

〒868-0071
熊本県人吉市西間上町2607-1
TEL 0966-23-3311
FAX 0966-23-3370

九州森林管理局ホームページ

<http://www.rinya.maff.go.jp/kyusyu/>

熊本南部森林管理署ホームページ

<http://www.rinya.maff.go.jp/kyusyu/kumamotonanbu/index.html>



国民の森林・国有林

九州森林管理局
熊本南部森林管理署